

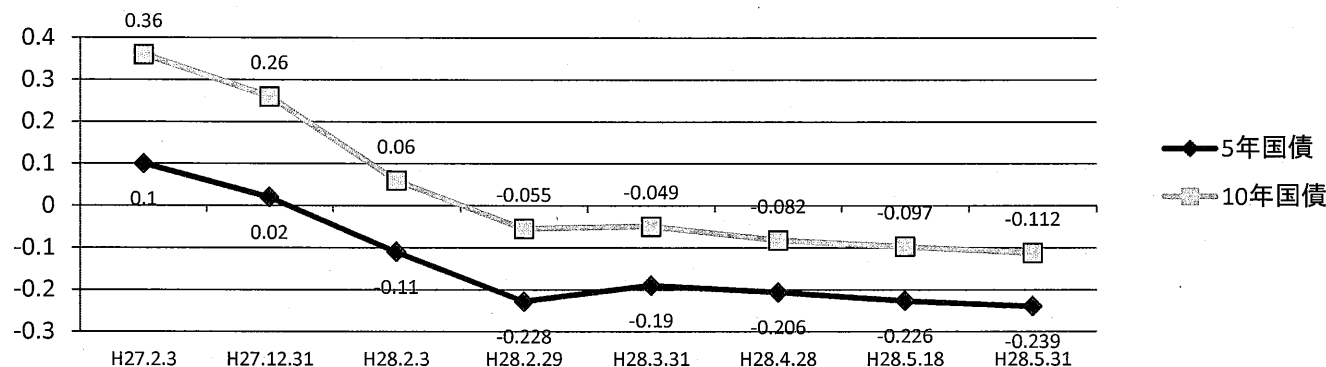
# 船員保険の準備金にかかる金銭信託の解約について

資料2-2

## 1.解約に至った経緯

- 約400億円の準備金のうち、約300億円(元本)を金銭信託で運用してきたが、28年2月16日から導入されたマイナス金利政策(▲0.1%)の影響により日本国債の利回りがマイナスになったことから、いわゆる持ち切り運用において国債を購入すると損失が発生する状況となった。

【参考 直近の金利動向】



出典：2016/2/3以前～Blloomberg及びみずほ信託銀行、2016/3/31以降～財務省HP

- 一方で、国債の利回りが低下したことにより、保有している国債に約2.5億円の評価益(28年3月末時点)が出ており、引き続き満期保有した場合に今後得られる利息等の合計額よりも約1.5億円の収益増が見込まれたことから、保有するすべての国債を売却のうえ金銭信託を解約し、他の準備金と同一口座において一元管理することとした。

## 2.結果等

- 保有していたすべての国債を28年5月18日付で売却した結果、実現益は約2.6億円であった。また、同月20日付で金銭信託を解約した。